

## 保証と安全上の諸注意

Polyend は、付属品に欠損がなく構造上の問題のない状態で一次オーナーに限って保証を適用します。保証の適用には一次オーナーであることを証明をする新品購入書類が必要となります。また、純正品以外や異なる電圧の AC アダプターを使用した場合や誤使用を含む Polyend が定めたその他の理由による故障は保証修理の対象外となります (通常の修理サービスとして修理代を申し受けます)。製品が交換または修理となるかについては、すべて Polyend による裁量により決定されます。製品を返品する場合の送料は、返品を希望するお客様の負担となります。Polyend はこの製品を通じて生じた、いかなる損害についても責任を負いません。

日本国内の返品や修理のお問い合わせにつきましては Elektron Distribution Group までご連絡ください。

重要な安全情報とメンテナンス手順:

水、雨、多湿の環境に晒さないでください。直射日光や熱源のそばに長時間設置しないでください。

筐体やスクリーンのクリーニングの際には強い洗剤を利用しないでください。

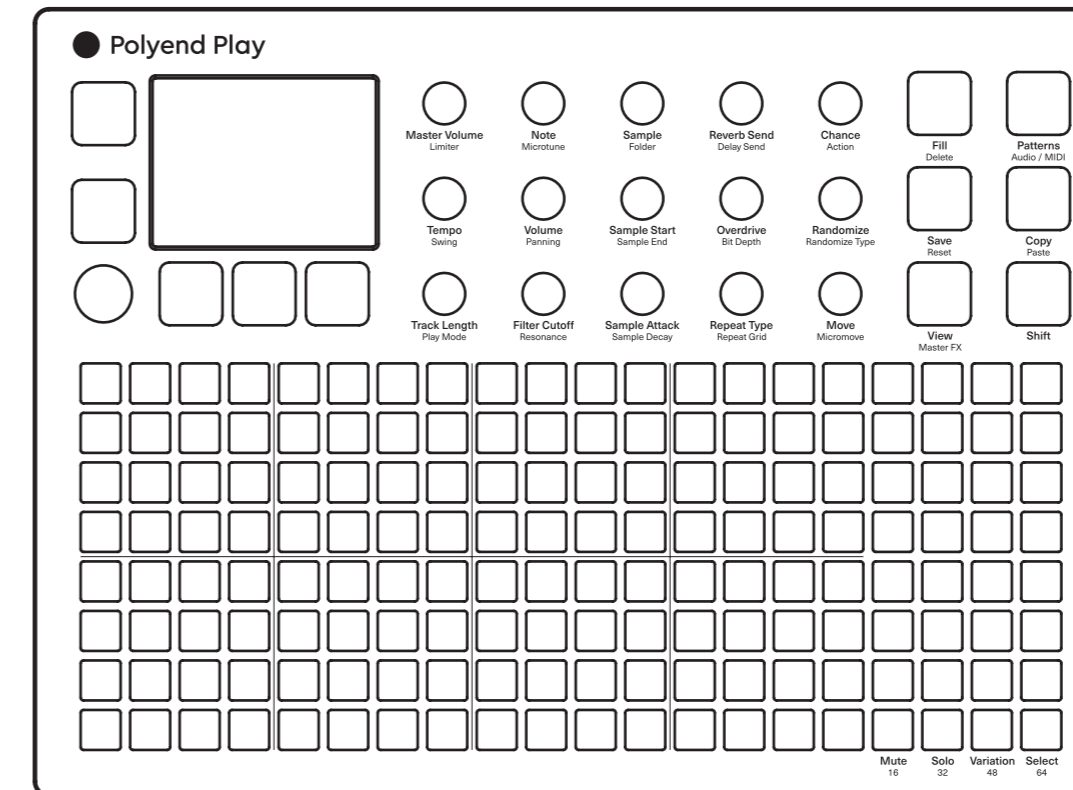
粉じん、泥、指紋を取り除くにはやわらかく布を使用してください。クリーニングの際には本体に接続されているケーブル類はすべて取り外してください。固く絞った湿らせた布を使用する場合は完全に乾燥が終わってからケーブル類を取り付けてください。

傷や破損を回避するため、鋭利なものを本体やディスプレイに押しつけないでください。また液晶画面に圧力を加えないようにしてください。

この装置は本体もしくはアンプ、ヘッドホン、スピーカーを介して大音量を発生させます。不快感を伴う大音量での使用は避けてください。聴覚を適切に保護してください。

雷を伴う悪天候時や長期間使用しないときは電源コンセントから取り外してください。

本体を分解しないでください。ユーザーが修理できる領域はありません。作業は資格を持った技術者に依頼する必要があります。機器が物理的に破損したとき、本体に液体がかかったとき、機器に何かを落としたとき、本体を落下させてしまったとき、正常な動作をしない場合はサポートまでご連絡ください。



# Polyend Play Sample and MIDI-based Groovebox クイックガイド

このページは、Polyend Trackerの操作に関する記事です。
Polyend Trackerの操作に関する記事は、こちらをご覧ください。

Play は、パターンとパフォーマンスをベースにしたオーディオと MIDI のグルーヴボックスで、簡単な操作でありながら非常に複雑なことができます。Play は、経験豊富なミュージシャンと初心者の方々に、刺激的なワークフローを提供します。音楽制作者は、多くのエキサイティングで創造的な方法で音楽パターンを作成し、相互作用することができます。一度作成したパターンは、連結して再生することも、その場でトリガーすることもできます。さらに、各パターンのトラックは独自のバリエーションを持つことができ、それらのトラックはそれぞれ独自の長さ、再生速度などを持つことができます。

Play のインターフェイスは非常に分かりやすいので、このマニュアルを一読するだけですぐに使い始めることができます。しかし、まずは「はじめに」をお読みいただいたから、さらに詳しい説明をお読みになることをお勧めします。

**ピック&プレイス** - サンプルノブを使用して、プロジェクトのサンプルプールにあるサンプルをブラウズします。サンプルノブをダブルタップするか、専用スクリーンボタンを使用してサンプルとサンプルフォルダを切り替えます。さあ、好きなサンプルを選んでください。準備ができたら、グリッドパッドを押してサンプルをグリッドにステップ状に配置します。

**選択と調整** - グリッドパッドを長押ししてステップを選択し、ノブを使ってそのパラメータを変更します。以下を選択することができます。

- グリッドパッドを長押しして、1 つまたは複数のステップ。
- Shift ボタンを押しながらグリッドパッドを押すと、複数のステップのループ。
- グリッドの右側にあるセレクトパッドを押して、トラック全体。

複数のステップを選択した場合、パラメータの変更はすべてのステップに適用されます。選択したステップのパラメータ値が異なる場合は、**チルド (-)** 記号と数字および **+/-** を表示しながら変更します。

選択されたノブのパラメータ（および / またはそのオートメーション）に対応する画面ボタンを**ダブルクリック**すると、そのパラメータがデフォルト値に戻されます。

**プレイバック** - Polyend Play は、様々な種類のサンプル再生方式を設定可能です。

- スクリーンキーの Play ボタンを押すと、現在のパターンの再生が開始・停止します。シーケンサーがアクティブなときは、オレンジ色になります。
- パターンをループ再生しているときに Shift + Play を行うと、アレンジされたパターンを順次再生し続けることができます。
- 停止中に Shift + Play を押すと、アレンジメントされたパターンの連続再生を開始します。
- アレンジメントパターンを順次再生中に Shift + Play で、現在のパターンのループ再生に切り替わります。

## 基本

**オーディオ& MIDI シーケンサー** - 最大 8 つのポリフォニック MIDI トラックで外部機器をコントロールするスタジオのもっとも重要なものとして、または 8 つの内蔵オーディオトラックを利用して外出先で使用することができます。Play は小型軽量で、スタジオ全体を膝の上に快適に載せることができます。

**ノブ** - ノブを回して、そのアクティブなパラメータをコントロールします。各ノブには 2 つのパラメータ値があります。操作中のパラメータはハイライト表示されます。ノブをダブルタップするか、画面の左側にある 2 つの機能画面ボタンを使用して、これらのパラメータを切り替えます。現在選択されているノブのパラメータは、スクリーン・エンコーダでも制御可能です。

**音 (ノート) の入力** - ステップを押しながら Note ノブを回して、音を選択することができます。または、ビュー・コントローラー機能、または外部 MIDI 機器から音のデータを送信することもできます。

**Live Rec** - Live Rec スクリーンボタンを押すと使用できます（アクティブになると赤色になります）。シーケンサーが動作しているとき、既存のステップのすべてのノブオートメーションを登録します。また、ビューモードと MIDI コントローラーの両方から挿入された音をパターントラックに記録します。ライブレコードモード

に入るとパフォーマンスモードが無効になり、その逆も同様です。

**パフォーマンス** - パフォーマンススクリーンボタンを押して、このモードに入ります。グリッドの右側にあるセレクトパッドで1 つまたは複数のトラックを選択し、パフォーマンスパッドを押し始めてください。選択されたトラックのみが影響を受けます。各 Perform パッドは、音に影響を与えるパンチインエフェクトを保持しています。パッドを長押しすると一瞬だけパンチインエフェクトがかかり、押してすぐに離すとエフェクトがかからなくなります。このモードでは、ノブモジュレータも使用できます。ノブの値変化は、Perform more を離すとすべて初期値に戻ります。パンチイン効果は、パフォーマンスモードを終了すると直ちに切り替わりオフになり、再びパフォーマンスモードに戻ると切り替わってオンになります。

**パターンチェーン/ソングモード** - パターン機能ボタンを押すと、パターンビューになります。1 つのプロジェクトに最大 128 個のパターンを保存することができます。パターンを並べ、Shift + Play キーのコンボでパターンをチェーンして連続再生することができます。この方法で、1 曲分を作成することができます。パターンチェーンの間に 1 つ以上の空白のパターンパッドを空けて、パターンチェーンのセットを作成します。パターンやパターンチェーンのあるグリッドパッドを押すと、各パーツにジャンプすることができます。既存のパターンのあるグリッドパッドを押しながら、空白のパッドを押すと、パターンをクイックコピーして貼り付けることができます。

**設定メニュー** - エンコーダーを下にクリックすると、メインメニューに入ります。

## 魅了するゲーム性

**サンプルバック** - Play には、一流のサウンドデザイナーによって作成されたサンプルバックが多数付属しています。自分で作ったものをロードすることもできますが、バンドルされているバックは、箱から出してすぐに高品質の音楽を作るには十分すぎるほどです。Play のワークフローは、特定の方法で準備されたサンプルバックに依存し、サンプルはフォルダに分類されます。インストールメントのアルゴリズムのいくつかは、これらのバックをベースにしています。最も重要なのは、フィルとランダマイズツールのアイデアがそれらに依存していることです。もちろん、こちらに従う必要はなく、自分流に行うこともできますが、オーディオの仕上がりが非常に音楽的になるのに役立つでしょう。

**クイックコピー** - グリッドパッドを約 0.5 秒長押しします。パッドは紫色でハイライトされ、そのパラメータ値がクリップボードにコピーされます。ソース・パッドを保持したまま、ペーストされるターゲット・パッドを指定します。これは、ステップ、ステップページ、パターン、およびバリエーションに対して機能します。

**バリエーション** - このツールは、あなたのトラックの代替バージョンを作成することができます。これらのバリエーションは、再生中に手動で切り替えることができます。バリエーション機能パッドを 1 つ以上押すと、トラック全体を素早く変更することができます。各トラックには、それぞれ対応するバリエーションパッドがあります。トラックバリエーションを表すパッドはピンク色に点灯します。

**Fill ツール** - 選択された領域を、選択した Fill タイプで自動入力することができます。ステップのランダム配置、ユークリッドスプレッド、ドラムビート全体を選択することができます。

**ステップリピーター** - 短いスタッター、ラチェット、ピッチエフェクト、ポリュームフェードなどを作ることができるフレキシブルなオンボードエフェクトです。ドラムやメロディックなサンプルに非常に有効です。

**ランダマイザー** - 何をどれだけランダム化するかを選択できる高度なシステムです。このシナリオでは、1 つのノブを使用して、一度に多くの変更を行うことができます。ランダム化の結果は一時的なものであったり、パターンに保存することができます。

**ノート入力コントローラの表示** - このキーを押すと、Play のボタングリッドがキーボードまたはグリッドコントローラに変換されます。この方法で Play を使用すると、グリッドの右側にあるファンクションパッドの色がオレンジ色に切り替わります。パッドの上段ではオクターブを変更することができます、オーディオモードか MIDI モードかを表示します。パッドによるノートの入力を開始するには、ステップを押したまま希望のノートを押すか、ライブレコードモードを有効にします。メインメニューでキーボードとグリッドのレイアウトを選択することができます。

**トラックごとに** - Play のトラックには、互いに独立して動作するためのオプションが用意されています。例えば、**各トラックの長さ**は 1 ~ 64 Steps の間で設定できます。**スピード**は、BPM と連動したさまざまな分解能を選択できます。**スウィング**はトラック単位で設定可能です。さらに、35 種類のカスタム**プレイモード**で、トラックコンテンツを使いながら様々な再生方向 / 方式に設定することができます。

**チャンスとアクション** - これらペアは連動して動作し、いくつかのアルゴリズムミクなアクションを設定することができます。Chance（チャンス）は、パーセンテージまたはアルゴリズムによるアクションの発生確率です。Action は、Chance に基づいて起こる特定のパラメータ変化です。まず、Action が発生する確率を決定し、次に Action そのものを決定します。

**Master FX** - リバーブ、ディレイ、サウンドエンハンサー、リミッター、サチュレーターのエフェクト群は、ミックス全体のサウンドを変更するのに非常に便利です。より便利にするために、エフェクトは多くのプリセットで管理されています。

**スケール** - スケール（音階）フィルタリングをオンにすると、シーケンス全体が選択したスケールに適合する音だけを入出力するようになります。スケールを有効にするオプションは、メインメニューの設定で見つけることができます。

## ヒント & トリック

**自動保存** - 停止画面のボタンを押すたびに、現在のプロジェクトの状態が自動保存されます。

**戻る / やり直す** - 間違えるたびにステップの追加 / 削除、パラメータの変更)、戻る(またはやり直す) ことができます。Shift キーが押されているとき、これらのアクションは、下の画面ボタンの下で利用可能です。

**セッション・セーブとリセット** - いつでもパターンの現在の状態を保存し、呼び出すことができます。特にライブ演奏中の救命道具として便利です。セーブボタンを押すだけです。

**コピー / ペースト** - 任意の数のステップを選択し（複数のステップを選択するにはシフトボタンを押しながら選択）、同じパターンまたは別のパターンにコピーします。

**ターン・プレビュー** - シーケンサーが停止している間に、ノブの一つを回すと、変更されたパラメータをすぐに聞くことができます。

**ステップ・プレビュー** - エンコーダーをクリックしたまま、音を含むステップ・パッドを押すと、その音を聞くことができます。

**イージー・セレクション** - 1 つのステップ、ステップのブロック、1 つのトラック、またはパターン全体を選択します。

**ミュートとソロ** - 専用のファンクションパッドを使って、すべてのオーディオトラックと MIDI トラックに対して別々にこれらのアクションを実行できます。

**リバースサンプル** - サンプルのエンドポイントをスタートポイントより前に設定すると、サンプルの再生方向が反転します。

**スウィング** - これはトラックごとの機能ですが、すべてのトラックに同時に適用して、グローバルなスウィングを行うことができます。

**デフォルト値** - 選択されたノブパラメーター(および / またはそのオートメーション)に対応するスクリーンボタンをダブルクリックすると、そのデフォルト値が復元されます。

**ディケイのカット** - シーケンサーを停止した後に長いサンプルが鳴り終わる（ディケイする）場合、Master Volume ノブをタッチすることでカットすることができます。

**携帯性** - Polyend Play は 5V/1A で動作し、モバイルバッテリーから電源を供給することができます。

**トラッカーとの統合** - メインメニュー > MIDI > CC Mapping > Channel で Set Values for Polyend Trackerを選択すると、スタンドアロンオーディオワークステーション Polyend トラッカーの統合モードが有効になります。